



Pack
24

Ferrari

250 GTO



Ferrari

250 GTO

組み立てガイド

STAGE 93	リアブレーキ	P.369
STAGE 94	フロントブレーキ	P.373
STAGE 95	ウィンドスクリーン	P.377
STAGE 96	リアウィンドウ	P.381



リアブレーキ

リアブレーキを組み立て、取り付けていく。

93-1



93-2



93-3



93-4



93-5



93-6



93-7



93-8



パーツリスト

93-1 両面テープ×2

93-2 ディスク×2

93-3 ブレーキディスク×2

93-4 ブレーキキャリパー インナーセクション

93-5 ブレーキキャリパー アウターセクション

93-6 ブレーキキャリパー コネクター×2

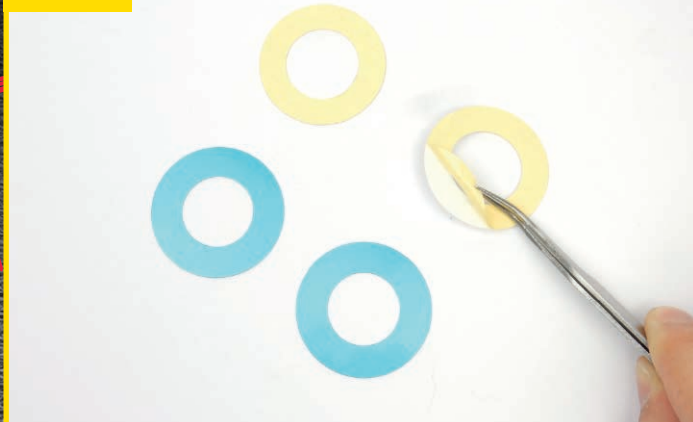
93-7 左リアハブキャップ

93-8 右リアハブキャップ

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 93

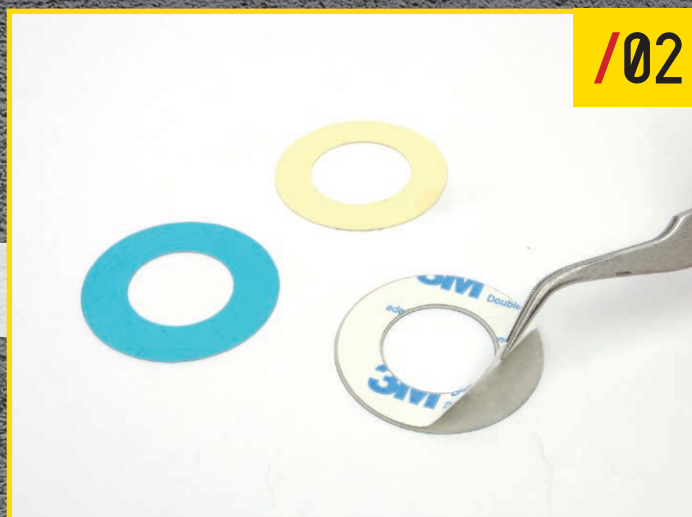
/01



93-1 (両面テープ) 2つと93-2 (ディスク) 2を用意する。ピンセットなどでフィルムをはがす。

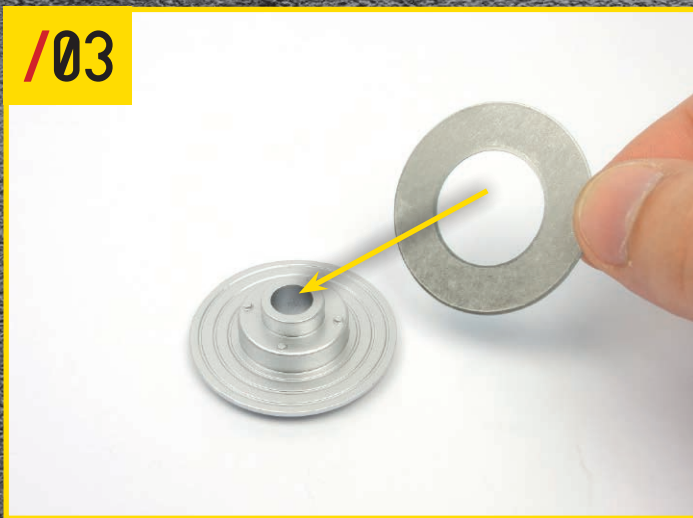
粘着面を下にして、93-2 (ディスク) の片面に貼り付ける。
93-1 (両面テープ) の反対側の保護フィルムをはがす。

/02



接着面を下にして、ディスクを2枚の93-3 (ブレーキディスク) に合わせる。写真のように向きを合わせよう。

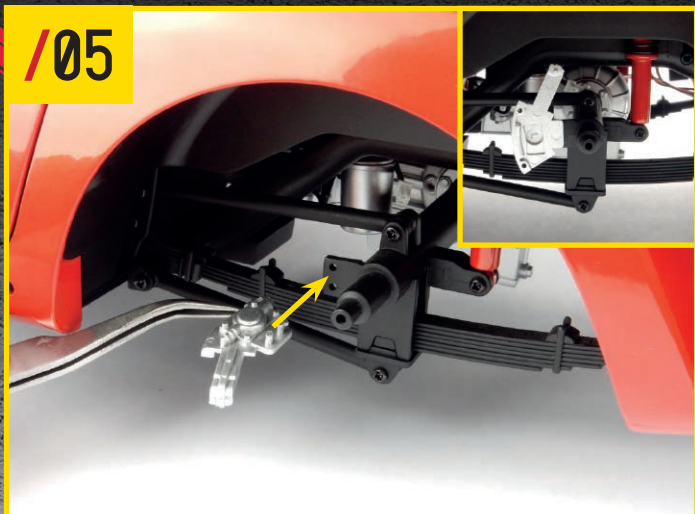
/03



ブレーキディスクから青い保護フィルムをはがす。

/04

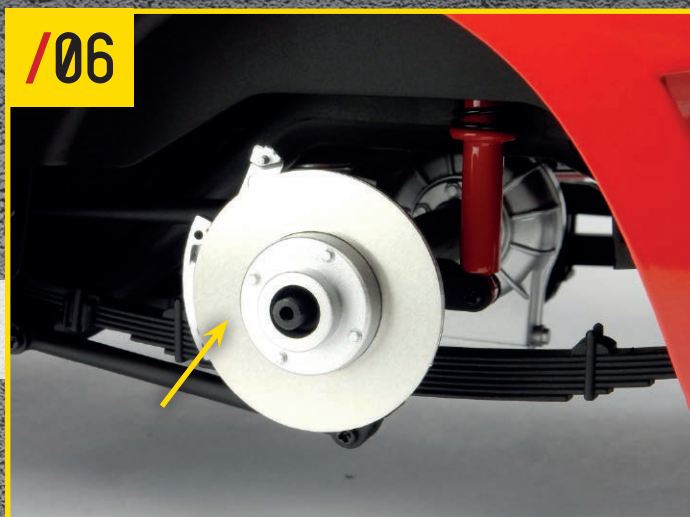




/05

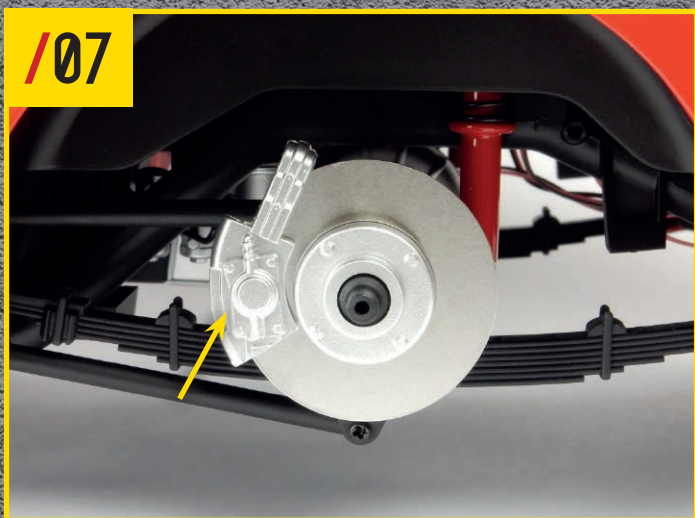
シャーシを用意する。93-4(ブレーキキャリパー インナーセクション)左部分(「L」と刻印されている)を写真のようにリアアクスルシャフト左の位置にはめ込む。向きを確認する。

93-3(ブレーキディスク)をリアアクスルシャフト左側に取り付ける。



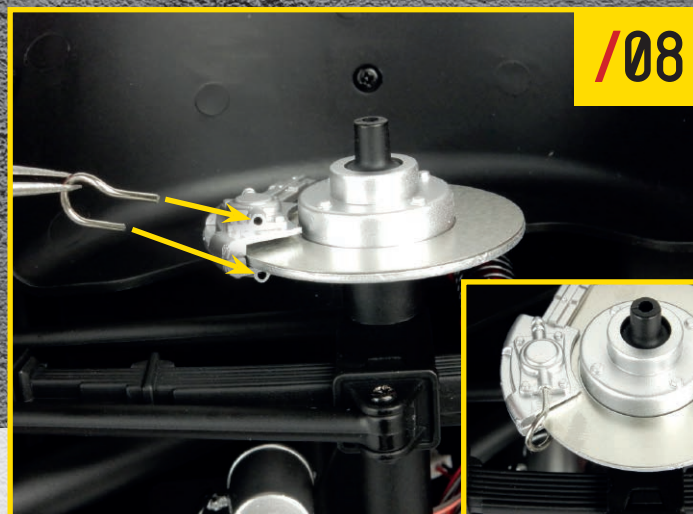
/06

93-5(ブレーキキャリパー アウターセクション)左部分をア取りつける。写真のように向きをそろえる。



/07

93-6(ブレーキキャリパー コネクター)で2つのブレーキキャリパーを結合する。



/08



/09



同じ手順で、リアブレーキの右側パーツを取り付ける。



STAGE 09 の完成

リアブレーキを取り付けたところ。
今回の組み立てで使わなかったパーツなどは大切に保管しておこう。

フロントブレーキ

フロントブレーキを組み立て、取り付けよう。

94-1



94-2



94-3



94-4



94-6



94-7



94-8



94-9



94-5



94-6



94-7



94-8



ネジC×3



パーツリスト

94-1 両面テープ ×2

94-2 ディスク ×2

94-3 ブレーキディスク ×2

94-4 左フロントハブキャップ

94-5 右フロントハブキャップ

94-6 ブレーキキャリパー インナーセクション

94-7 ブレーキキャリパー アウターセクション

94-8 ブレーキキャリパー コネクター ×2

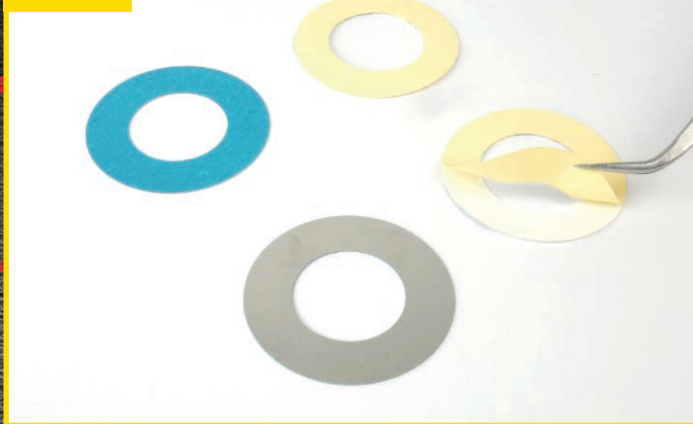
94-9 ケーブルクリップ ×4

ネジ類

ネジC (M2.3×4 mm) ×3 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



94-1 (両面テープ) 2つと94-2 (ディスク) 2を用意する。ピンセットなどでフィルムをはがす。

粘着面を下にして、94-2 (ディスク) の片面に貼り付ける。94-1 (両面テープ) の反対側の保護フィルムをはがす。

/02



接着面を下にして、ディスクを2枚の94-3 (ブレーキディスク) に合わせる。写真のように向きを合わせよう。

/03



/04

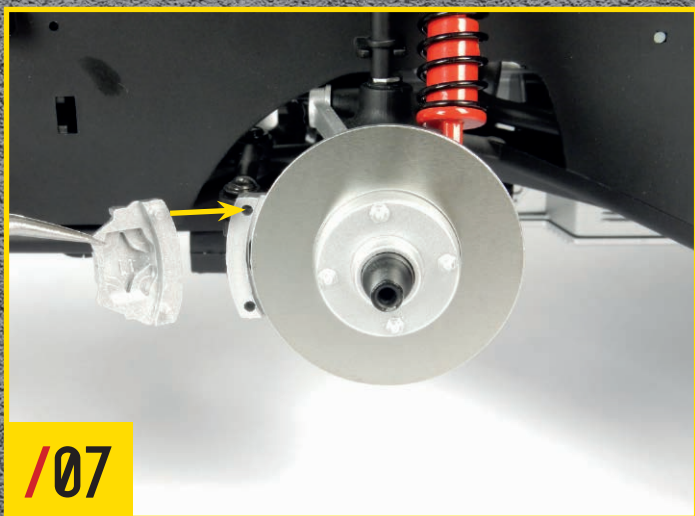
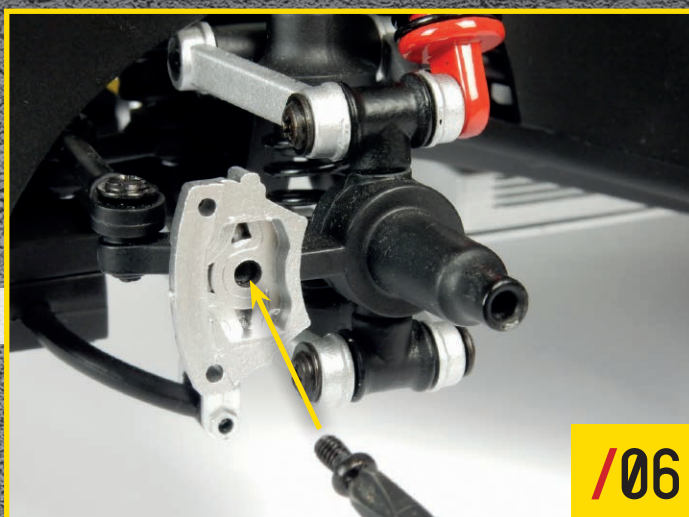


ブレーキディスクから青い保護フィルムをはがす。

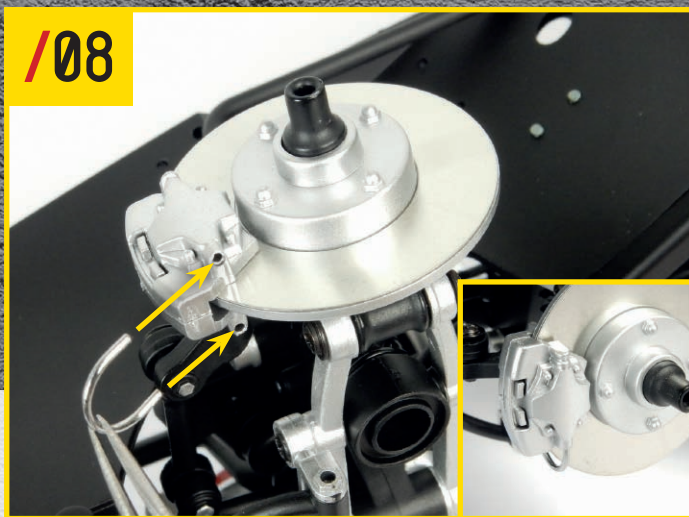


シャーシを用意する。94-6(ブレーキキャリパー インナーセクション)左部分(「L」)と刻印されている)を写真のようにリアアクスルシャフト左の位置にはめ込む。向きを確認する。

ネジCで固定する。



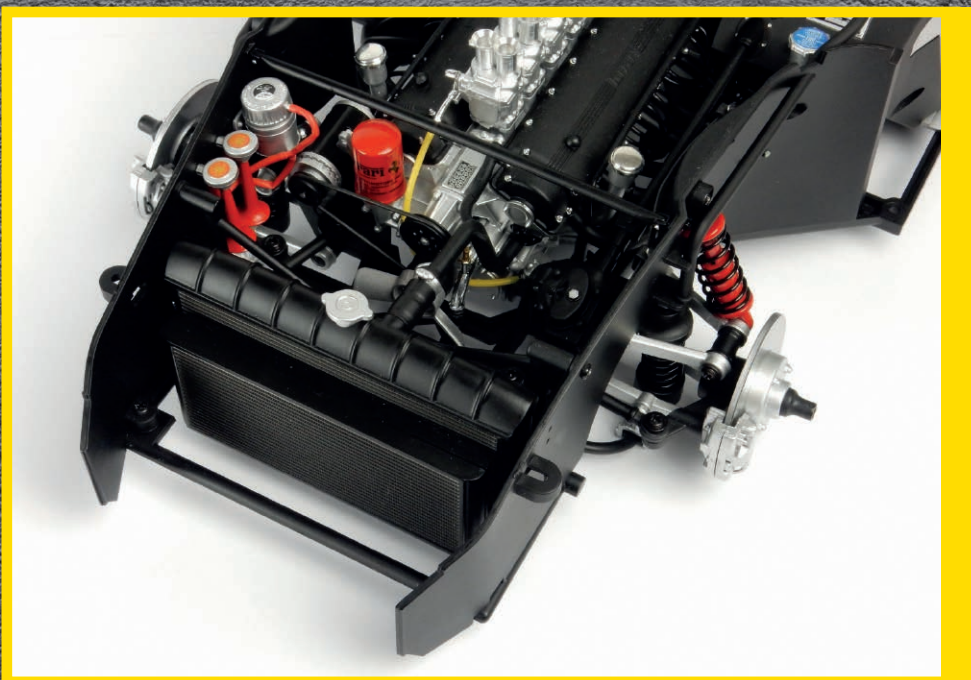
94-3(ブレーキディスク)と94-7(ブレーキキャリパー OUTERセクション)左部分(「L1」)と刻印されている)を取りつける。写真のように向きをそろえる。



94-8(ブレーキキャリパー コネクター)で、写真のように2つのブレーキキャリパーを結合する。



同じ手順で、フロントブレーキの右側パーツを取り付ける。

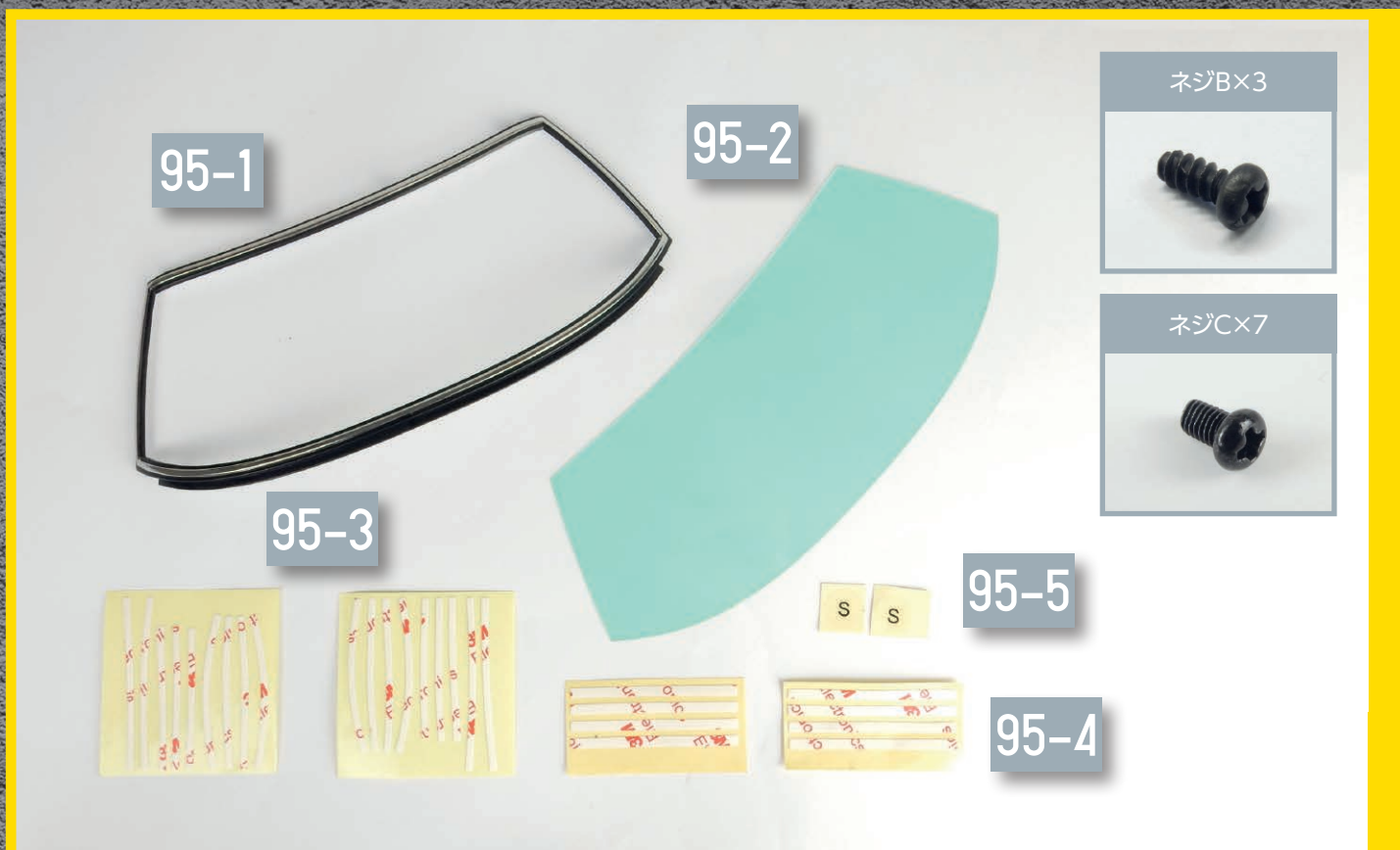


STAGE 04 の完成

フロントブレーキがシャーシに取り付けられた。

ウィンドスクリーン

ウィンドスクリーンを取り付け、ボディのフロント部分を仕上げていく。



パーツリスト

- 95-1 ウィンドスクリーンフレーム
- 95-2 ウィンドスクリーン
- 95-3 長い両面テープ(+予備1本)
- 95-4 短い両面テープ(+予備1本)
- 95-5 スピーカーケーブルステッカー ×2

ネジ類

- ネジB(p2.3×5 mm)×3 (1本は予備)
- ネジC(M2.3×4 mm)×7 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



95-3(長い両面テープ)を台紙からはがし、写真のように95-1(ウィンドスクリーンフレーム)の内側に貼り付ける。

/02



両面テープをはがす。

/03



95-2(ウィンドスクリーン)両側の保護フィルムをはがす。

/04



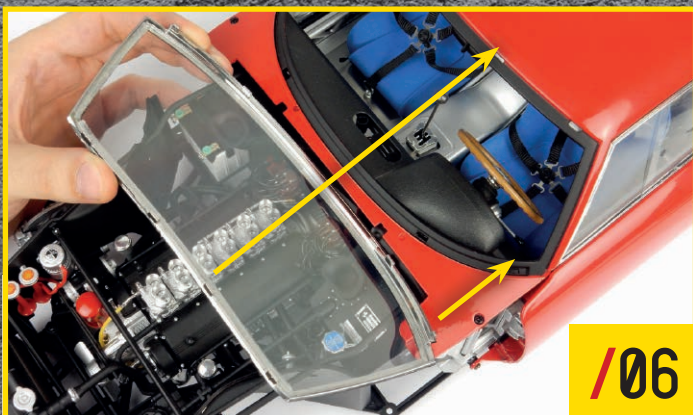
95-2(ウィンドスクリーン)を95-1(ウィンドスクリーンフレーム)内側にはめ込み、両面テープに貼り付ける。

/05

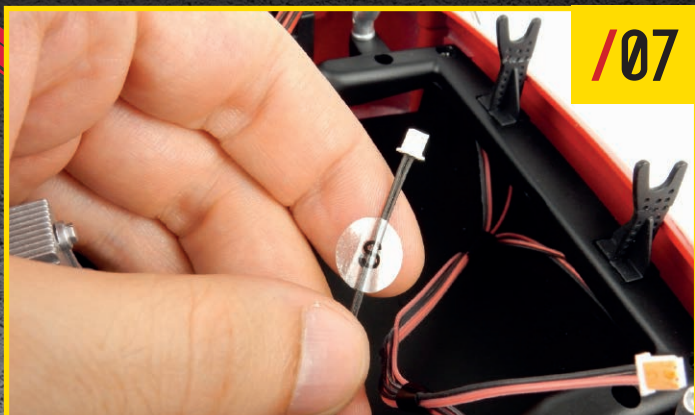


95-4(短い両面テープ)を台紙からはがし、写真のようにウィンドスクリーン内側に貼り付ける。

/06

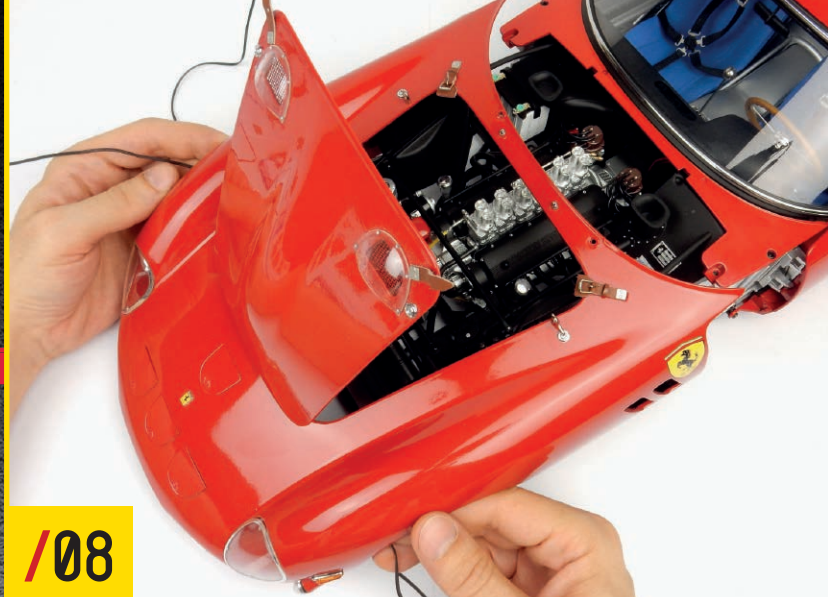


ボディを用意し、短い両面テープをはがしウィンドスクリーンを付ける。向きを確認する。



/07

次の組み立て作業の目印になるように、スピーカーケーブル(黒と白のコネクター)に95-5(スピーカーケーブルステッカー)を貼っておく。



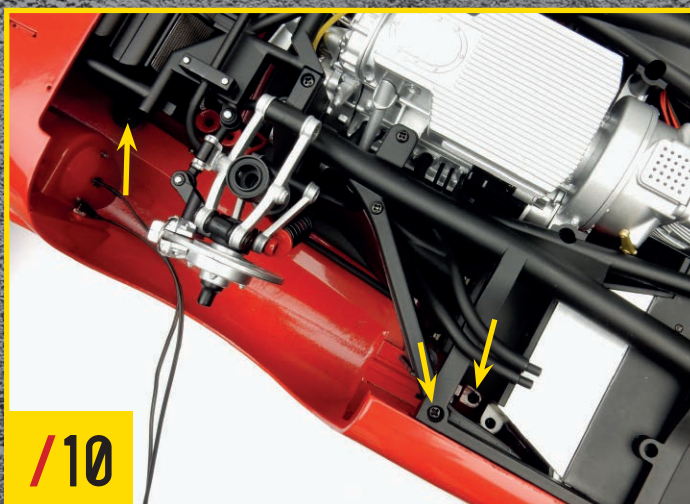
/08

ボディのフロント部分を用意し、ボンネットを開ける。フロントヘッドライトケーブルを外側に引き出したら、ボンネットを閉じる。



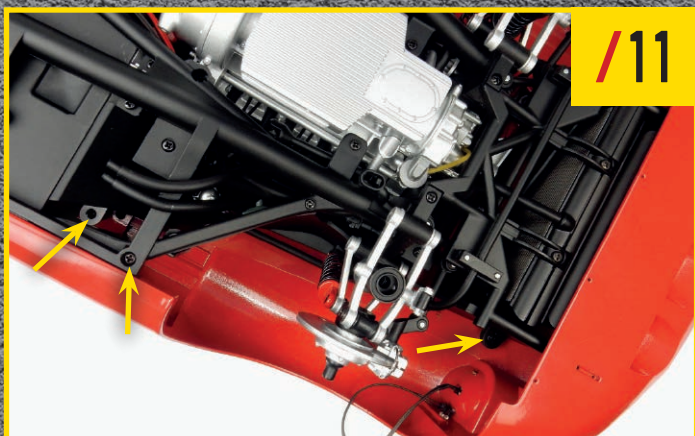
/09

フロント部分をボディに合わせる。



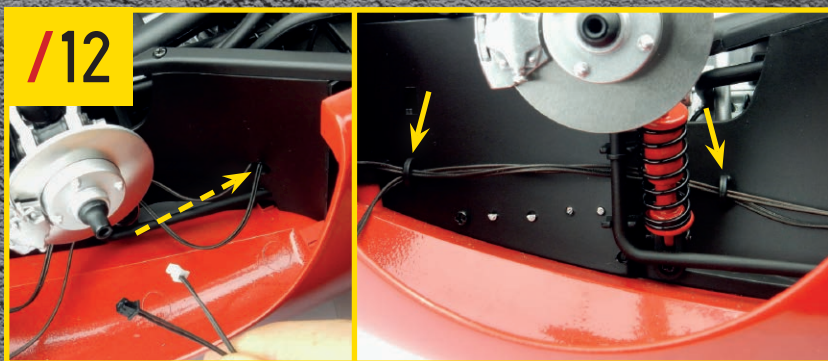
/10

3本のネジCを、矢印で示した穴にねじ込み固定する。



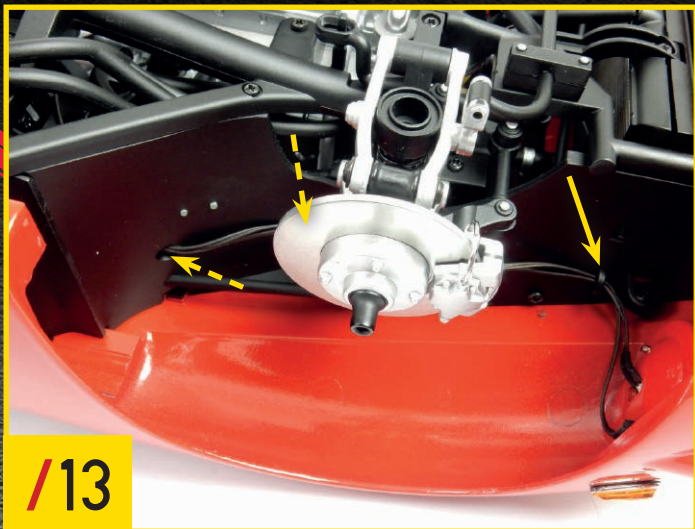
/11

さらに3本のネジCを、矢印の穴にねじ込み固定する。



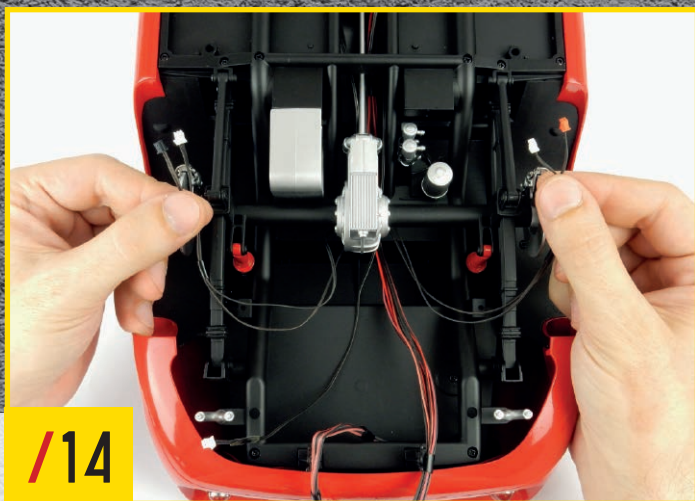
/12

右ヘッドライトケーブルに対応するインジケータケーブルを右ウイングの穴に通す。STAGE94で保管しておいた94-9(ケーブルクリップ)2個で固定する。



/13

同様に、左ヘッドライトケーブルに対応するインジケータケーブルを左ウイングの穴に通す。STAGE94で保管しておいた、残りの94-9(ケーブルクリップ)2個で固定する。



/14

ボディフロントからシャーシ横木の下にケーブルを通し、後部で他のケーブルと合流させる。



STAGE95 の完成

ボディのフロント部分がここまで仕上がった。

リアウィンドウ

すべてのケーブルを回路基板に接続し、リアウィンドウをモデルに取り付ける。

96-1



96-2



96-3



96-4

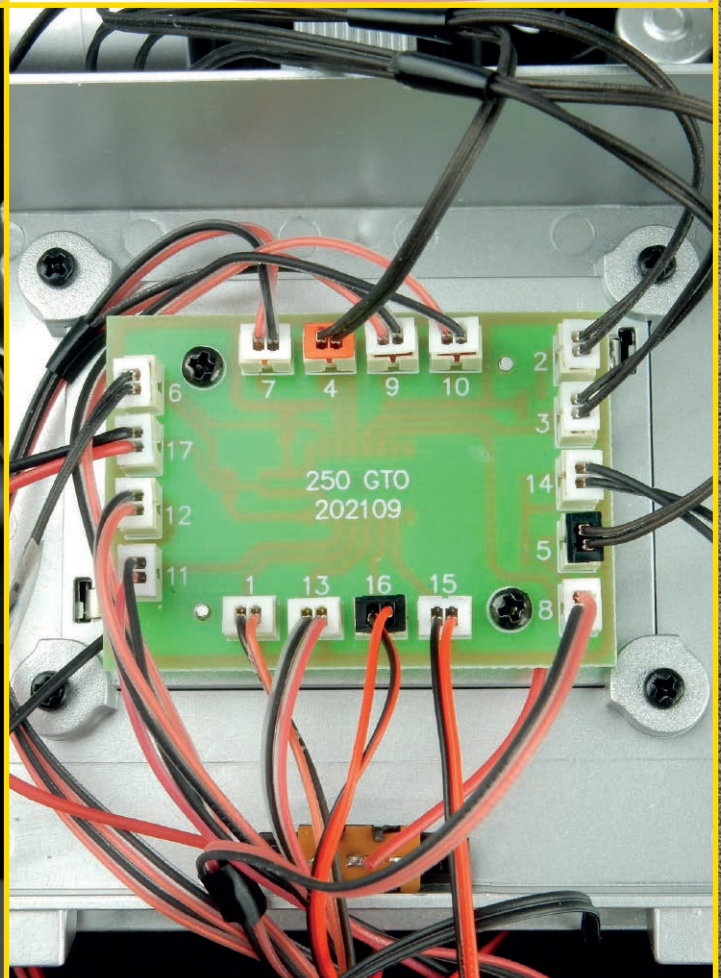
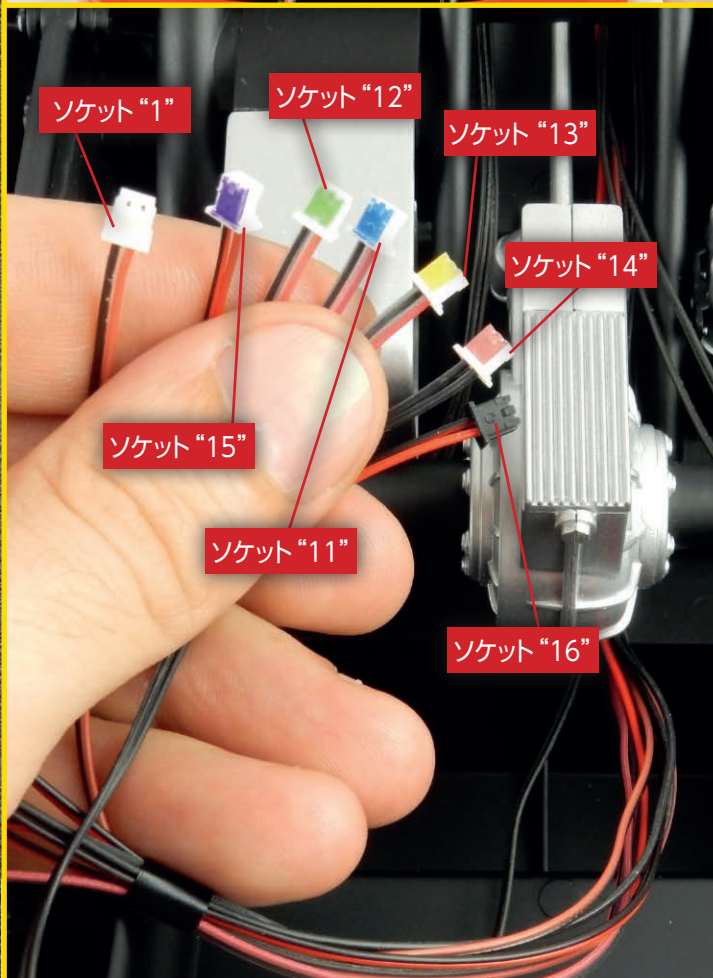
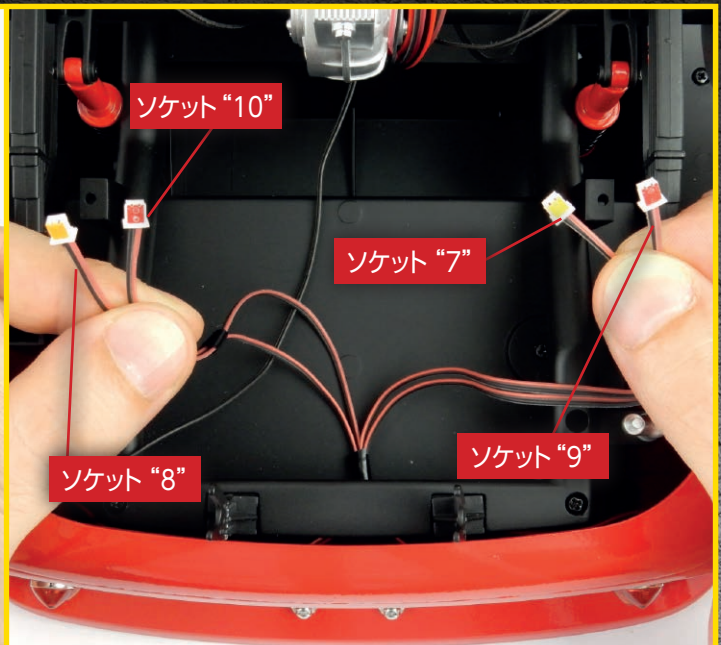
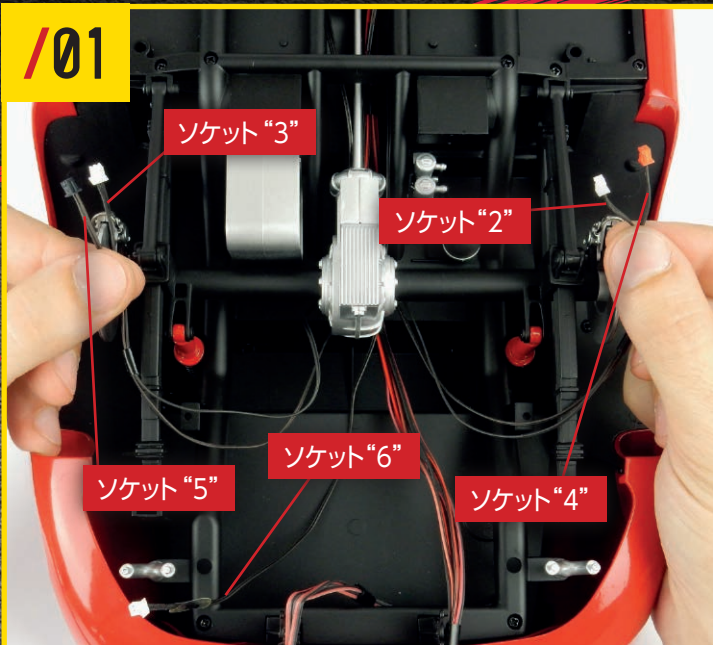


パーツリスト

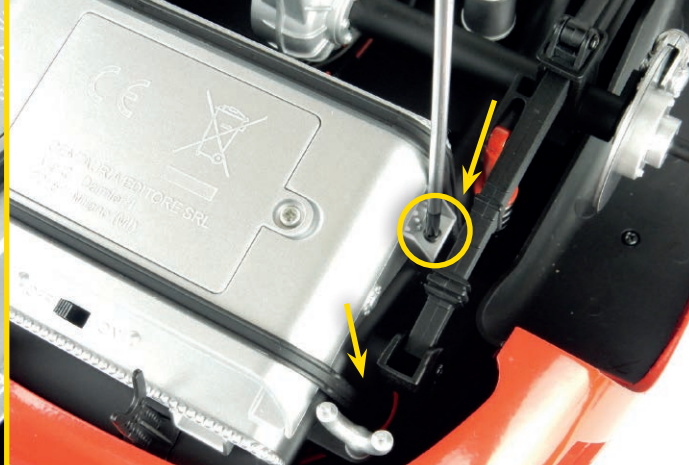
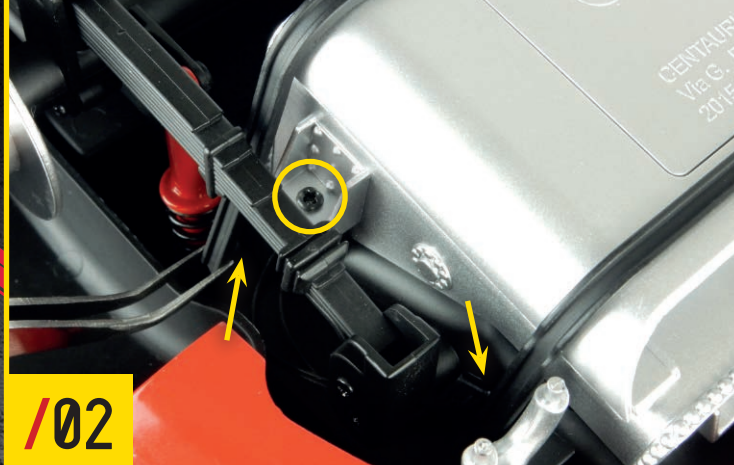
- 96-1 リアウィンドウフレーム
- 96-2 リアウィンドウ
- 96-3 両面テープ (+予備1本)
- 96-4 リアウィンドウ吸気口カバー

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



回路基板付きのバッテリートレイとモデルを用意する。すべてのケーブルのコネクターを回路基板の各ソケットに差し込む。どのケーブルをどこにつなげるのか、写真で確認しよう。



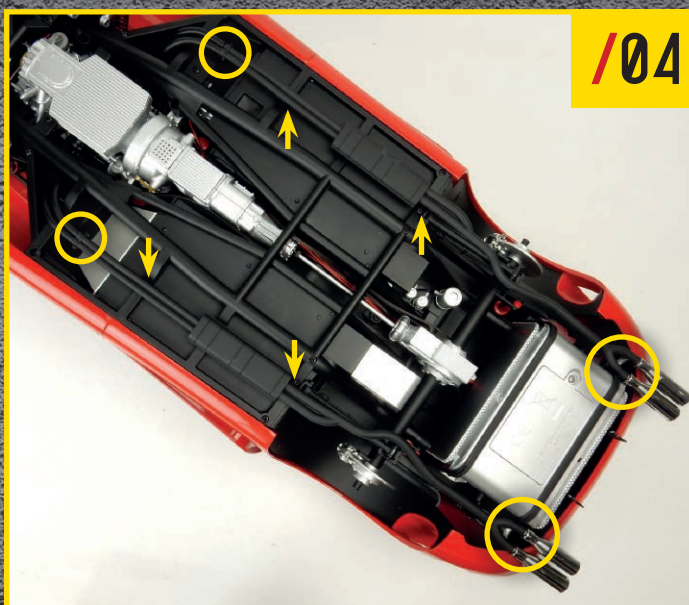
/02

ブラケット端にあるスタッドでバッテリートレイをシャーシに取り付ける。**STAGE95** で保管しておいた2本のネジBを写真のようにねじ込む。そのあと、電池トレイを開け、単4電池を3本入れ、再びカバーをはめて閉じる。



/03

バッテリートレイのスイッチを「ON」の位置に動かす。81-10(キー)をイグニッションに差し込む。このとき、モデルのサウンドとライトが作動する。正しく動作していることを確認したら、バッテリートレイのスイッチを「OFF」の位置に戻す。



/04

STAGE91 と **STAGE92** で組み立てた排気システムのパーツを取り付ける。



/05

96-2(リアウィンドウ)の両側から保護フィルムをはがし、96-4(リアウィンドウ吸気口カバー)をリアウィンドウ外側にはめ込む。



/06

96-3(両面テープ)を台紙からはがし、写真のように96-1(リアウィンドウフレーム)内側に貼り付ける。両面テープの反対側をはがす。

/07



リアウィンドウをリアウィンドウフレーム内側にはめ込み、両面テープで貼り付ける。リアウィンドウ吸気口カバーが外側を向いていることを確認しよう。

フレームのスタッドをボディに差し込み、リアウィンドウを取り付ける。

/08



STAGE 06 の完成

リアウィンドウがはめこまれたモデル。